

平成16年3月期

第3四半期業績の概況（連結）

平成16年 1月 30日

上場会社名 富士電機ホールディングス株式会社 上場取引所 東 大 名 福
 コード番号 6504 (URL <http://www.fujielectric.co.jp>) 本社所在都道府県 東京都
 代表者 役職・氏名 取締役社長 沢 邦彦
 問合せ責任者 役職・氏名 財務計画室財務グループゼネラルマネージャー 松本 淳一 TEL (03) 5435-7231

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に : 有 (固定資産の減価償却の方法や法人税等の計上基準など
 おける認識の方法との相違の有無 について一部簡便的な方法を採用しております。)
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結子会社数 59社 (平成15年9月期末に対し2社増加)
 持分法適用会社数 0社 (平成15年9月期末と同じ)

2. 平成16年 3月期第3四半期の連結業績 (平成15年 10月 1日 ~ 平成15年 12月 31日)

(1) 連結経営成績

(注) 本決算短信の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	170,351	1.6	8,539	-	9,128	-	5,513	-
15年3月期第3四半期	167,655	4.3	10,373	-	10,486	-	307	-
(参考)15年3月期	832,414		12,909		8,984		3,911	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	7.71	-
15年3月期第3四半期	0.44	-
(参考)15年3月期	5.28	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益、当期(四半期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	896,643	168,424	18.8	235.40
15年3月期第3四半期	933,367	142,489	15.3	204.53
(参考)15年3月期	921,121	161,188	17.5	225.06

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	290	3,713	12,356	17,488
15年3月期第3四半期	6,045	4,302	17,712	23,303
(参考)15年3月期	38,576	14,454	47,832	15,038

3. 平成16年 3月期の連結業績予想 (平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 3月 31日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	855,000	16,000	12,000	5,000

	1株当たり予想 当期純利益
	円 銭
通 期	6.79

(注) 上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

平成15年度 第3四半期 連結決算概要

(単位：百万円)

	第3四半期 (10月～12月)			9ヶ月累計 (4月～12月)		
	平成15年度	平成14年度	前年同期比 (%)	平成15年度	平成14年度	前年同期比 (%)
売上高	170,351	167,655	102	518,326	527,350	98
営業損益	8,539	10,373	-	16,579	20,036	-
経常損益	9,128	10,486	-	18,560	22,387	-
当期純損益	5,513	307	-	13,721	12,603	-
1株当たり 当期純損益	7円71銭	44銭	-	19円18銭	17円73銭	-

(注1) 平成15年度第3四半期の連結子会社数は59社 (平成14年度第3四半期 58社)

(注2) 財務数値については監査対象外

比較連結損益計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

	15年度第3四半期 (15年10月～15年12月)		14年度第3四半期 (14年10月～14年12月)		増減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	170,351	100.0	167,655	100.0	2,696	101.6
売上原価	140,245	82.3	140,085	83.6	160	100.1
売上総利益	30,105	17.7	27,569	16.4	2,536	109.2
販売費及び一般管理費	38,644	22.7	37,943	22.6	701	101.8
営業損益	8,539	5.0	10,373	6.2	1,834	-
営業外収益	1,274	0.7	869	0.5	405	146.6
(受取利息・配当金)	(438)		(387)		(51)	
(雑収益)	(836)		(481)		(355)	
営業外費用	1,863	1.1	982	0.6	881	189.7
(支払利息)	(684)		(698)		(14)	
(雑支出)	(1,179)		(283)		(896)	
経常損益	9,128	5.4	10,486	6.3	1,358	-
特別利益	171		12,690		12,519	
特別損失	961		1,746		785	
税金等調整前当期純損益	9,918	5.8	457	0.3	10,375	-
法人税等	4,006		961		4,967	
少数株主利益	399		196		203	
当期純損益	5,513	3.2	307	0.2	5,206	-

比較連結損益計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

	15年度9ヶ月累計 (15年4月～15年12月)		14年度9ヶ月累計 (14年4月～14年12月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	518,326	100.0	527,350	100.0	9,024	98.3
売上原価	424,847	82.0	433,691	82.2	8,844	98.0
売上総利益	93,478	18.0	93,659	17.8	181	99.8
販売費及び一般管理費	110,057	21.2	113,695	21.6	3,638	96.8
営業損益	16,579	3.2	20,036	3.8	3,457	-
営業外収益	4,302	0.8	3,563	0.7	739	120.7
(受取利息・配当金)	(1,411)		(1,709)		(298)	
(雑収益)	(2,891)		(1,853)		(1,038)	
営業外費用	6,284	1.2	5,913	1.1	371	106.3
(支払利息)	(2,474)		(2,881)		(407)	
(雑支出)	(3,809)		(3,032)		(777)	
経常損益	18,560	3.6	22,387	4.2	3,827	-
特別利益	14,914		26,173		11,259	
特別損失	18,278		25,210		6,932	
税金等調整前当期純損益	21,924	4.2	21,424	4.1	500	-
法人税等	7,392		8,321		929	
少数株主利益	810		499		311	
当期純損益	13,721	2.6	12,603	2.4	1,118	-

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	15年度第3四半期末 (15年12月31日)		15年度上半期末 (15年9月30日)		増 減	14年度末 (15年3月31日)	
		構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)
(資産の部)							
流動資産	439,222	49.0	421,528	48.0	17,694	473,222	51.4
現金及び預金	17,803		9,605		8,198	15,664	
受取手形及び売掛金	175,066		193,784		18,718	250,447	
有価証券	388		338		50	460	
棚卸資産	184,577		168,457		16,120	152,427	
その他	61,385		49,342		12,043	54,222	
固定資産	457,218	51.0	457,217	52.0	1	447,668	48.6
有形固定資産	160,322		163,000		2,678	190,221	
無形固定資産	7,442		7,656		214	7,684	
投資その他の資産	289,453		286,560		2,893	249,763	
繰延資産	202	0.0	249	0.0	47	230	0.0
資産合計	896,643	100.0	878,994	100.0	17,649	921,121	100.0
(負債の部)							
流動負債	525,899	58.7	509,818	58.0	16,081	588,558	63.9
支払手形及び買掛金	138,750		131,412		7,338	168,629	
短期借入金	124,943		164,844		39,901	158,633	
その他	262,206		213,561		48,645	261,295	
固定負債	189,236	21.1	180,001	20.5	9,235	156,919	17.0
負債合計	715,136	79.8	689,819	78.5	25,317	745,477	80.9
(少数株主持分)							
少数株主持分	13,082	1.4	13,829	1.6	747	14,455	1.6
(資本の部)							
資本金	47,586		47,586		-	47,586	
資本剰余金	46,694		46,694		-	46,694	
利益剰余金	51,833		59,135		7,302	69,275	
その他有価証券評価差額金	32,346		31,655		691	6,922	
為替換算調整勘定	3,310		3,021		289	2,603	
自己株式	6,725		6,705		20	6,687	
資本合計	168,424	18.8	175,345	19.9	6,921	161,188	17.5
負債、少数株主持分及び資本合計	896,643	100.0	878,994	100.0	17,649	921,121	100.0
金融債務残高	419,166	46.7	405,243	46.1	13,923	438,865	47.6

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

科 目	期 別	15年度第3四半期 (15年10月～12月)	14年度第3四半期 (14年10月～12月)	増 減
・営業活動によるキャッシュ・フロー		290	6,045	5,755
・投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出		4,479	4,844	365
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入		742	691	51
そ の 他		23	149	172
計		3,713	4,302	589
(フリー・キャッシュ・フロー +)		(4,004)	(10,347)	(6,343)
・財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		39,469	1,358	38,111
コマーシャルペーパーの純増減額		48,000	1,000	49,000
長期借入れ及び社債の発行		12,790	27,290	14,500
長期借入金の返済		7,168	2,208	4,960
そ の 他		1,795	5,010	3,215
計		12,356	17,712	5,356
・現金及び現金同等物に係る換算差額		77	140	63
・現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)		8,274	7,224	1,050
・現金及び現金同等物の期首残高		9,214	16,088	6,874
・連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	9	9
・現金及び現金同等物の期末残高		17,488	23,303	5,815

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

期 別	15年度9ヶ月累計 (15年4月～12月)	14年度9ヶ月累計 (14年4月～12月)	増 減
科 目			
・営業活動によるキャッシュ・フロー	9,265	16,149	6,884
・投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出	10,258	18,251	7,993
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入	25,396	4,242	21,154
その他の	927	2,101	3,028
計	16,065	16,109	32,174
(フリー・キャッシュ・フロー +)	(25,331)	(39)	(25,292)
・財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	33,048	26,153	6,895
コマーシャルペーパーの純増減額	14,500	7,000	21,500
長期借入れ及び社債の発行	46,160	54,690	8,530
長期借入金の返済及び社債の償還	46,427	28,268	18,159
その他の	3,845	8,505	4,660
計	22,661	15,236	7,425
・現金及び現金同等物に係る換算差額	219	460	241
・現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)	2,450	15,658	18,108
・現金及び現金同等物の期首残高	15,038	38,109	23,071
・連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	852	852
・現金及び現金同等物の期末残高	17,488	23,303	5,815

セグメント情報

【第3四半期】

(単位：百万円)

		15年度第3四半期		14年度第3四半期		前年同期比 (%)
		(15年10月～15年12月)	構成比(%)	(14年10月～14年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	61,797	34	59,187	33	104
	機器・制御	41,421	22	39,954	22	104
	電 子	33,681	18	31,737	17	106
	流通機器システム	33,186	18	33,685	19	99
	そ の 他	15,100	8	15,941	9	95
	小 計	185,188	100	180,506	100	103
	消 去	14,837	-	12,851	-	-
	合 計	170,351	-	167,655	-	102
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	9,031	-	8,260	-	-
	機器・制御	73	-	154	-	-
	電 子	2,503	-	709	-	353
	流通機器システム	1,576	-	2,906	-	-
	そ の 他	105	-	263	-	-
	小 計	8,135	100	10,347	100	-
	消去又は全社	403	-	25	-	-
	合 計	8,539	-	10,373	-	-

セグメント情報

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

		15年度9ヶ月累計		14年度9ヶ月累計		前年同期比 (%)
		(15年4月～15年12月)	構成比(%)	(14年4月～14年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	185,823	33	198,802	35	93
	機器・制御	119,361	22	113,063	20	106
	電子	95,711	17	91,597	16	104
	流通機器システム	110,546	20	114,708	20	96
	その他	46,652	8	50,028	9	93
	小計	558,096	100	568,201	100	98
	消去	39,769	-	40,850	-	-
	合計	518,326	-	527,350	-	98
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	25,006	-	22,687	-	-
	機器・制御	10	-	1,938	-	-
	電子	7,624	-	5,123	-	149
	流通機器システム	346	-	1,383	-	-
	その他	869	-	919	-	95
	小計	16,155	100	19,966	100	-
	消去又は全社	423	-	70	-	-
	合計	16,579	-	20,036	-	-

平成 15 年度第 3 四半期の連結業績概況

経営成績

当第 3 四半期のわが国経済は、一部に景気の持ち直しに向けた動きが見られ、輸出や設備投資は増加傾向にありました。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、火力事業分野の海外向け大口案件で実績を挙げた「電機システム」部門、器具分野ならびに駆動制御分野とともに伸長した「機器・制御」部門、磁気記録媒体分野が 80 ギガバイト製品の本格的な量産により伸長するとともに、半導体分野が好調であった「電子」部門において、前年同期を上回りました。一方、市場競争の激化や価格下落により自動販売機分野が低迷した「流通機器システム」部門では、売上高が前年同期を下回りました。

これらの結果、当第 3 四半期の連結売上高は前年同期比 1.6%増の 1,703 億円となりました。

営業損益面では、磁気記録媒体分野が黒字化した「電子」部門で大幅に改善しました。さらに、物量減にもかかわらずコストダウン効果を抽出した「流通機器システム」部門、合理化効果に加えて売上高が伸長した「機器・制御」部門の損益も改善しました。他方、「電機システム」部門は、環境・情報システム分野の売上減による損益悪化を主因として、前年同期に対し営業損失が増加しました。

これらの結果、営業損益は 85 億円 39 百万円（対前年同期 18 億 34 百万円好転）となりました。

経常損益は、91 億円 28 百万円（同 13 億 58 百万円好転）となり、当期純損益は、前年同期に特別利益に計上した「変電事業における会社分割に伴う営業移転利益（126 億円）」が当期においては発生しないことから、前年同期に対し 52 億 6 百万円悪化の 55 億 13 百万円となりました。

また、9 ヶ月累計では、売上高は、「機器・制御」部門、「電子」部門では前年同期を上回ったものの、「電機システム」部門、「流通機器システム」部門が前年同期を下回り、前年同期比 1.7%減の 5,183 億円となりました。損益面では、「機器・制御」部門、「電子」部門、「流通機器システム」部門が改善し、営業損益は 165 億 79 百万円（対前年同期 34 億 57 百万円好転）となりました。経常損益は 185 億 60 百万円（同 38 億 27 百万円好転）、当期純損益は 137 億 21 百万円（同 11 億 18 百万円悪化）となりました。

【セグメント別状況】

電機システム

発電・変電分野では、国内電力各社の設備投資抑制の続くなか、火力事業分野は海外向け大口案件で実績を挙げたことなどにより伸長しました。加えて、原子力関連施設向けの大口案件などで納入実績を挙げた結果、当分野全体では、売上高は前年同期を上回り、営業損益も改善し黒字となりました。

環境・情報システム分野では、環境システムは、水処理システム分野や社会システム分野において市場競争の激化と価格下落の影響を受け伸び悩みました。情報システムは、電子行政・自治体情報システムの拡販に努めましたが、製造業向け市場が回復基調にあるものの IT 関連設備投資の伸び悩みもあり前年同期を下回りました。この結果、当分野全体では、売上高は前年同期を下回り、営業損失が増加しました。

電機・交通システム分野では、プラントシステム分野において予防保全やサービス案件が売上増に貢献しましたが、産業分野向けプラントシステムや交通システム関連設備の売上減を補うには至りませんでした。この結果、当分野全体では、売上高は前年同期を大幅に下回り、営業損失が増加しました。

工事部門では、国内需要の低迷を背景に、売上高は前年同期を大幅に下回りましたが、合理化効果の抽出により営業損失は減少しました。

これらの結果、第3四半期における当部門の売上高は、前年同期比4.4%増の617億円となりましたが、営業損益は、対前年同期7億71百万円悪化の90億31百万円となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、環境・情報システム分野、電機・交通システム分野、工事部門の不振により対前年同期比6.5%減の1,858億円となり、営業損益は対前年同期23億19百万円悪化の250億6百万円となりました。

機器・制御

器具分野は、国内市場では、半導体製造装置・工作機械・射出成形機等をはじめとする一般機械メーカー向けの需要増により、主力機種であるマグネットスイッチ、ブレーカ等を中心に伸長しました。さらに、中国を中心としたアジア向け輸出においても、好調な市況を反映して大幅に伸長しました。この結果、当分野の売上高は前年同期を上回り、営業損失は減少しました。

駆動制御分野は、国内市場では、自動車・工作機械・射出成形機等をはじめとした一般機械メーカー向けの需要増により伸長しました。また、中国を中心としたアジア向けのインバータ需要が引き続き好調に推移し、当分野の売上高は前年同期を上回りましたが、営業損益は、為替の影響等もあり、前年同期を下回りました。

これらの結果、第3四半期における当部門の売上高は、前年同期比3.7%増の414億円となり、営業損益は、前年同期に対し2億27百万円好転の73百万円となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、駆動制御分野の伸長により対前年同期比5.6%増の1,193億円となり、営業損益は対前年同期19億48百万円改善の10百万円となりました。

電 子

パワー半導体分野では、パワーモジュール製品は、汎用インバータやロボットなどの産業分野向けを中心に引き続き好調に推移しました。また、ディスクリート製品も薄型テレビ向けの需要増により伸長し、当分野全体では、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

IC分野では、電源用ICのゲーム機器向けならびに携帯電話向けが減少したものの、プラズマディスプレイ向け高耐圧IC、自動車向け複合デバイスなどが伸長し、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業損益は、8インチクリーンルームの資本費の負担増により前年同期を下回りました。

磁気記録媒体分野では、HDD市場の好調な需要を受けて、80ギガバイト製品の本格的な量産・出荷に加え、外販用アルミ基板が伸長したことにより、売上高は前年同期を大きく上回り、営業損益は若干ながら黒字となりました。

感光体分野は、複写機・プリンタ用OPC（有機感光体）が欧米市場における価格低下の影響により苦戦し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、第3四半期における当部門の売上高は、前年同期比6.1%増の336億円、営業損益は同253.0%増の25億3百万円となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、磁気記録媒体分野の伸長などにより、対前年同期比4.5%増の957億円となり、営業損益は対前年同期25億1百万円改善の76億24百万円となりました。

流通機器システム

自販機・フード・通貨機器分野では、自動販売機は、業界全体の需要が冷夏の影響を受けて停滞するなかで、カップ飲料自動販売機や食品自動販売機の新機種投入などにより拡販に努めたものの、メーカー間での競争の激化や想定以上の価格の下落により、前年同期を下回りました。通貨機器は、コインメカニズム、紙幣鑑別機が減少しましたが、レジヤ市場向けの貨幣処理システム、非接触カード分野などで伸長し、前年同期を上回りました。この結果、当分野の売上高は前年同期をやや下回りましたが、コストダウンと経費削減により営業損失は減少しました。

コールドチェーン機器分野では、冷凍・冷蔵ショーケースにおいて、スーパーマーケット向けがほぼ前年同期並でしたが、コンビニエンスストア向けは、新機種の発売などにより前年同期を上回り、当分野の売上高は前年同期に対して増加しました。しかしながら、営業損益は価格競争の激化により前年同期を若干下回りました。

これらの結果、第3四半期における当部門の売上高は、前年同期比1.5%減の331億円となり、営業損益は、前年同期に対し13億30百万円改善し、15億76百万円となりました。

なお、9ヶ月累計では、売上高は、自動販売機の低迷により対前年同期比3.6%減の1,105億円となりましたが、営業損益は、コストダウンと経費削減により対前年同期17億29百万円改善の3億46百万円となりました。

その他

第3四半期における当部門の売上高は、主として所管会社の他セグメントへの移管影響を受けて、前年同期比5.3%減の151億円となりました。営業損益は前年同期に対し3億68百万円悪化の1億5百万円となりました。

9ヶ月累計では、売上高は、対前年同期比6.7%減の466億円となり、営業損益は対前年同期50百万円悪化の8億69百万円となりました。

財政状態

当第3四半期末の総資産は8,966億円となり、当上半期末に比べ176億円増加しました。

資産の部においては、売上債権が減少する一方で、プラント品の売上が期末に集中することを主因として棚卸資産が増加し、流動資産は176億円増加しました。

負債の部では、買入債務が73億円増加し、金融債務も139億円増加しました。

資本の部は、主に利益剰余金の減少により、当第3四半期末では1,684億円となり、株主資本比率は当上半期末に比べ1.1%低下して18.8%となりました。

なお、当第3四半期のフリー・キャッシュ・フローは、40億円の赤字（前年同期103億円の赤字）となりました。

以上

平成 15 年度通期の連結業績見通し

平成 15 年度通期の連結業績見通しにつきましては、売上高は、半導体分野が好調な「電子」部門で増加するものの、環境・情報システム分野の落ち込みが大きい「電機システム」部門、市場競争が激化している電源機器の落ち込みが大きい「機器・制御」部門、市場競争の激化と価格下落が続く「流通機器システム」部門において、前回（平成 15 年 10 月 23 日）発表した計画から減少する見込みです。利益面でも、売上高の減少に加え、円高による為替差損の発生があり、計画から減少する見込みです。

なお、期末の対米ドル為替円レートは、前回 110 円 / ドルで見えておりましたが、今回 105 円 / ドルで想定しています。

<平成 15 年度通期の連結業績見通し>

(単位：億円)

	平成 15 年度見通し			14 年度
	前回発表	今回発表	差異	実績
売上高	8,650	8,550	100	8,324
営業利益	180	160	20	129
経常利益	160	120	40	89
当期純利益	60	50	10	39

<連結部門別売上高>

(単位：億円)

	平成 15 年度見通し			14 年度
	前回発表	今回発表	差異	実績
電機システム	4,000	3,980	20	3,833
機器・制御	1,700	1,680	20	1,599
電子	1,300	1,310	+10	1,245
流通機器システム	1,550	1,520	30	1,544
その他	750	750	0	761
消去	650	690	40	660
合計	8,650	8,550	100	8,324

<連結部門別営業利益>

(単位：億円)

	平成 15 年度見通し			14 年度
	前回発表	今回発表	差異	実績
電機システム	25	0	25	1
機器・制御	20	20	0	11
電子	90	95	+5	72
流通機器システム	25	20	5	25
その他	20	20	0	20
消去又は全社	0	5	+5	0
合計	180	160	20	129

(注) 上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以 上

平成15年度 第3四半期 連結決算補足説明資料

1. 決算概要

(単位：億円)

	平成15年度				平成14年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
売上高	1,703	101.6%	8,550	102.7%	1,676	104.3%	8,324	99.2%
営業利益	85	-	160	123.9%	103	-	129	172.4%
経常利益	91	-	120	133.6%	104	-	89	155.1%
当期純利益	55	-	50	127.8%	3	-	39	-

2. 連結子会社数

	平成15年度		平成14年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
連結子会社数	59	60	58	58

3. 一株当たり当期純利益

	平成15年度		平成14年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
一株当たり当期純利益(円)	7.71	6.79	0.44	5.28

4. 平均為替レート

	平成15年度		平成14年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通期
平均為替レート(円)	108.92	112.51	122.57	121.95

5. 部門別売上高

	平成15年度				平成14年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	617	104.4%	3,980	103.8%	591	92.6%	3,833	92.7%
機器・制御	414	103.7%	1,680	105.0%	399	110.7%	1,599	100.5%
電子	336	106.1%	1,310	105.2%	317	108.6%	1,245	97.0%
流通機器システム	331	98.5%	1,520	98.4%	336	118.5%	1,544	119.2%
その他	151	94.7%	750	98.5%	159	101.5%	761	101.2%
小計	1,851	102.6%	9,240	102.8%	1,805	104.1%	8,984	99.2%
消去	148	-	690	-	128	-	660	-
合計	1,703	101.6%	8,550	102.7%	1,676	104.3%	8,324	99.2%

(注) 各部門の売上高には、部門間の内部売上高を含めて表示しています。

6. 部門別営業利益

	平成15年度				平成14年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	90	-	0	-	82	-	1	-
機器・制御	0	-	20	167.4%	1	-	11	-
電子	25	353.0%	95	131.6%	7	-	72	160.4%
流通機器システム	15	-	20	77.0%	29	-	25	103.8%
その他	1	-	20	95.9%	2	-	20	403.5%
小計	81	-	155	120.0%	103	-	129	174.7%
消去又は全社	4	-	5	-	0	-	0	-
合計	85	-	160	123.9%	103	-	129	172.4%

7. 研究開発費

	平成 15 年度				平成 14 年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通 期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	19	86.5%	107	119.5%	22	118.4%	90	87.2%
機器・制御	10	121.1%	44	159.9%	9	100.2%	28	78.4%
電 子	21	105.2%	78	100.8%	20	104.2%	77	103.8%
流通機器システム	10	141.8%	41	156.0%	7	84.0%	26	87.0%
そ の 他	0	-	0	-	0	-	0	-
全社（基礎研究等）	0	-	11	25.1%	4	24.6%	44	126.2%
合 計	62	98.3%	284	106.2%	63	85.7%	267	95.4%
対売上高比率（%）	3.7%	-	3.3%	-	3.8%	-	3.2%	-

8. 設備投資額、減価償却費

	平成 15 年度				平成 14 年度			
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期		通 期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	17	266.2%	59	140.1%	6	36.7%	42	61.9%
機器・制御	5	70.6%	42	95.4%	7	86.6%	44	81.2%
電 子	23	74.6%	141	79.5%	31	84.4%	178	127.2%
流通機器システム	6	37.7%	30	54.4%	17	64.7%	55	76.5%
そ の 他	2	70.2%	15	137.2%	3	316.7%	11	77.9%
全社（共通）	0	-	2	-	0	-	0	-
設備投資額合計	55	83.6%	292	87.9%	66	72.5%	332	94.7%
内リース取得	33	89.7%	166	89.6%	37	116.1%	185	180.8%
減 価 償 却 費	40	59.1%	156	61.3%	69	131.5%	255	89.7%

（注1）設備投資額は、有形固定資産への投資額とリース契約による取得額の合計値です。

（注2）減価償却費は有形固定資産の減価償却費です。

9. 期末従業員数（定期社員除く）

	平成 15 年度		平成 14 年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通 期
電機システム	10,611	10,558	10,369	10,190
機器・制御	5,111	5,148	5,480	5,435
電 子	4,095	4,029	4,181	4,152
流通機器システム	3,120	3,099	3,255	3,219
そ の 他	2,144	2,115	2,086	2,067
本部（共通）	140	138	759	759
合 計	25,221	25,087	26,130	25,822